

(特非) アフリカ日本協議会

持続可能な開発目標 (SDGs) およびポスト 2015 課題に向けた NGO の連携と政策提言

イベントの 延べ参加者数	1,150 人
活動に対する問 合せ件数	52 件
活動の全体目標 に対する達成度	85%



G7 市民社会戦略会議 (ニューヨーク)

◆成果と工夫したポイント

- **成果** (1) 官・民・市民・国会議員をあげた SDGs の国内実施体制構築の基盤が整った。
- (2) G7 サミットに向けて「Civil G7 対話」を実現し、開催地を含む市民社会参画の枠組みを整えた。
- **工夫** できる限り包摂的で全員参加型のアプローチを採用した。政府や国会議員にも、心からの丁寧な対応を心がけた。

課 題

日本及び世界の市民社会の参画による、よりよい「持続可能な開発目標」(SDGs)の形成および実施体制の構築と、G7 伊勢志摩サミットへの世界の市民の声の反映。

活動内容

- ① SDGs 交渉プロセスへの市民の声の反映: 政府(外務省)との意見交換会を複数回行い、市民の声を反映させた。
- ② 国連での SDGs 採択後は、セクター横断的な SDGs 実施体制の構築に向けて、政府や国会への提言や、市民社会での啓発を行った。
- ③ SDGs 及び関連課題が議題となる G7 伊勢志摩サミットに向けて、市民社会のプラットフォームを構築し、各国の市民社会と連携して G7 諸国政府との対話を行った。



未来に向けて: 国会議員と中学生の対話

今後の課題

- (1) G7 サミットへの市民参加を通じ、市民の参加が保障された SDGs 実施体制を構築する。
- (2) SDGs について、より積極的なメディア露出を獲得する。